

平成32年度千葉大学入学者選抜方法の変更について（予告）

平成29年12月公表
 平成30年3月修正
 平成30年9月修正
平成30年12月修正
 千葉大学

I 一般入試

<募集人員等の変更>

平成32年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

1. 文学部

【変更後】					【変更前】				
学 科	募集人員				←	学 科	募集人員		
	一般入試		特別入試				一般入試		特別入試
	前期日程	後期日程	AO入試	推薦入試			前期日程	後期日程	推薦入試
人文学科	125	18	3	24		人文学科	125	21	24

※日本・ユーラシア文化コース後期日程の廃止並びにAO入試の新設に伴う変更です。

2. 教育学部

【変更後】				【変更前】						
コース・選修・分野		募集人員		←	コース・選修・分野等		募集人員			
		一般入試	特別入試				一般入試	特別入試		
		前期日程	AO入試				前期日程	AO入試	推薦入試	
小学校コース	国語科選修	(19)	6	←	小学校コース	国語科選修	(19)	6	-	
	社会科選修	(19)	6	←		社会科選修	(19)	6	-	
	算数科選修	(19)	6	←		算数科選修	(19)	6	-	
	理科選修	(19)	6	←		理科選修	(19)	6	-	
	教育学選修	(24)	6	←		教育学選修	(24)	6	-	
	教育心理学選修	(19)	6	←		教育心理学選修	(19)	6	-	
	ものづくり選修	(5)	3	←		ものづくり選修	(5)	3	-	
中学校コース	国語科教育分野	(6)	2	←	中学校コース	国語科教育分野	(6)	-	2	
	社会科教育分野	(5)	2	←		社会科教育分野	(5)	-	2	
	数学科教育分野	(8)	2	←		数学科教育分野	(8)	-	2	
	理科教育分野	(8)	2	←		理科教育分野	(8)	-	2	
	技術科教育分野	(5)	2	←		技術科教育分野	(5)	-	2	
小中専門教科コース	音楽科教育分野	(10)	5	←	小中専門教科コース	音楽科教育分野	A選択	(8)	2	-
	図画工作・美術科教育分野	(12)	3	←		B選択	(3)	-	2	
				A選択		(8)	2	-		
	保健体育科教育分野	(20)	5	←		B選択	(3)	-	2	
A選択				(13)	3	-				
家庭科教育分野	(12)	3	←	B選択	(7)	-	2			
			A選択	(8)	2	-				
英語教育コース	(30)	10	←	英語教育コース	A選択	(18)	7	-		
			←		B選択	(12)	-	3		
特別支援教育コース	(23)	7	←	特別支援教育コース	(23)	-	7			
乳幼児教育コース	(15)	5	←	乳幼児教育コース	(15)	-	5			
養護教諭コース	(20)	5	←	養護教諭コース	(20)	-	5			
計	298	92		計	297	55	38			

・一般入試の募集人員()はおおよその人数であり、志願状況等により増減があります。

3. 理学部

【変更後】					【変更前】					
学 科	募集人員				←	学 科	募集人員			
	一般入試		特別入試				一般入試		特別入試	
	前期日程	後期日程	AO入試	推薦入試			前期日程	後期日程	AO入試	推薦入試
物理学科	23	12	4	-		物理学科	23	12	-	4

4. 医学部

【変更後】			【変更前】			
学 科	募集人員		←	学 科	募集人員	
	一般入試				一般入試	
	前期日程	後期日程			前期日程	後期日程
医学科	85	15		医学科	97	20

<大学入試センター試験の指定教科・科目及び個別学力検査の出題教科・科目等>

平成 32 年度入学者選抜における大学入試センター試験の指定教科・科目及び個別学力検査の出題教科・科目等については、別掲「平成 32 年度千葉大学入学者選抜（一般入試）における出題教科・科目等について（予告）」（平成 30 年 12 月追加）で確認してください。

<大学入試センター試験の指定教科・科目及び個別学力検査の配点>

平成 32 年度入学者選抜における大学入試センター試験の指定教科・科目及び個別学力検査の出題教科・科目等の配点については、別掲「平成 32 年度千葉大学入学者選抜（一般入試）における大学入試センター試験及び個別学力検査の配点（予告）」で確認してください。

II 特別入試

<AO入試>

平成 32 年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

1. 文学部

平成 32 年度入学者選抜から文学部で新たにAO入試を実施します。

募集人員	人文学科 日本・ユーラシア文化コース 3名
出願資格	<p>次の①～⑦のいずれかに該当し、平成 32 年 1 月実施の平成 32 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目を受験する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成 32 年 3 月までに卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による 12 年の学校教育（※）を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者 （※）特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次が該当します。</p> <p>③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>⑥ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 32 年 3 月までに合格見込みの者</p>
選抜方法等	<p>提出された書類並びに課題論述及び面接により、総合判定のうえ合格内定者を決定し、更に平成 32 年度大学入試センター試験で指定する教科・科目の成績（素点）総得点が 70%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <p>《大学入試センター試験の指定教科・科目等》 大学入試センター試験の指定教科・科目等については、一般入試前期日程の文学部人文学科日本・ユーラシア文化コースと同様とします。</p>
出願期間	平成 31 年 10 月上旬
選抜期日	平成 31 年 11 月中旬～下旬
合格者発表	平成 32 年 2 月上旬（合格内定者の発表：平成 31 年 12 月上旬）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 出願時に所定の指示と様式に基づく自己推薦書を提出してもらいます。詳細は平成 32 年度文学部人文学科日本・ユーラシア文化コースAO入試学生募集要項を確認してください。 課題論述は、資料の理解力、論理構成力等を問うものです。 なお、問題には英文読解力を問うことを目的とする英文を含みます（英和辞典のみ持ち込み可とします。電子辞書、PC・スマートフォン等の電子機器類の使用はできません）。

2. 法政経学部

法政経学科におけるAO入試を、以下のとおり変更します。

【変更前】

(出願資格等)

次の外国語検定試験において、以下のうちいずれかの条件を満たしている者

①TOEFL iBT	55 点以上
②IELTS	4.5 以上
③GTEC 3 技能 ※	650 点以上
④GTEC 4 技能	1070 点以上
⑤GTEC CBT	950 点以上
⑥実用英語技能検定	2 級以上

(選抜方法等)

大学入試センター試験で指定する教科・科目の総得点（配点合計）が 75%に達し、かつ外国語検定試験の結果が以下のスコアに該当する者

①TOEFL iBT	61 点以上
②IELTS	5.5 以上
③GTEC 3 技能 ※	680 点以上
④GTEC 4 技能	1110 点以上
⑤GTEC CBT	1010 点以上
⑥実用英語技能検定	準 1 級以上

※GTEC for STUDENTS は GTEC 3 技能と同様に取扱います。

【変更後】

(出願資格等)

次の外国語検定試験において、以下のうちいずれかの条件を満たしている者

①TOEFL iBT	55 点以上
②IELTS	4.5 以上
③GTEC (4 技能のオフィシャルスコアに限る) ※	1070 点以上
④GTEC CBT ※	1020 点以上
⑤実用英語技能検定	1980 点以上

(選抜方法等)

大学入試センター試験で指定する教科・科目の総得点（配点合計）が 75%に達し、かつ外国語検定試験の結果が以下のスコアに該当する者

①TOEFL iBT	61 点以上
②IELTS	5.5 以上
③GTEC (4 技能のオフィシャルスコアに限る) ※	1110 点以上
④GTEC CBT ※	1070 点以上
⑤実用英語技能検定	2304 点以上

※平成 30 年 6 月以前に GTEC CBT を受検した場合のスコア基準は「④GTEC CBT」とします。平成 30 年 7 月以降に GTEC4 技能版の CBT タイプを受検した場合のスコア基準は「③GTEC」とします。

例) 平成 30 年 6 月以前に GTEC CBT を受検した場合、「出願資格等」におけるスコア基準は、「1020 点以上」となります。また、平成 30 年 7 月以降、GTEC4 技能版の CBT タイプを受検した場合、「出願資格等」におけるスコア基準は、「1070 点以上」となります。

3. 教育学部

平成 32 年度入学者選抜から教育学部におけるAO入試を、以下のとおり実施します。

(1) 方式 I (大学入試センター試験を課す選抜)

募集人員	学校教員養成課程 90 名 (各コース等での募集人員は次のとおり)																												
	コース	募集人員	内訳																										
	小学校コース	39 名	国語科選修 6 名, 社会科選修 6 名, 算数科選修 6 名, 理科選修 6 名, 教育学選修 6 名, 教育心理学選修 6 名, ものづくり選修 3 名																										
	中学校コース	8 名	国語科教育分野 2 名, 社会科教育分野 2 名, 数学科教育分野 2 名, 理科教育分野 2 名																										
	小中専門教科コース	16 名	音楽科教育分野 5 名, 図画工作・美術科教育分野 3 名, 保健体育科教育分野 5 名, 家庭科教育分野 3 名																										
	英語教育コース	10 名	※小学校コース, 小中専門教科コース, 英語教育コースの募集人員 65 名には地域選抜枠 40 名を含みます。 地域選抜枠は, 千葉県内に所在する高等学校, 中等教育学校及び特別支援学校高等部を平成 32 年 3 月卒業見込み (高等専門学校 3 年次修了見込みの者も含む) の者が該当します。																										
	特別支援教育コース	7 名																											
	乳幼児教育コース	5 名																											
養護教諭コース	5 名																												
出願資格	<p>次の①～⑥のいずれかに該当し, かつ, 平成 32 年 1 月実施の平成 32 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目 (選抜方法を参照) を受験する者</p> <p>① 高等学校 (中等教育学校を含む) を卒業した者及び平成 32 年 3 月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 32 年 3 月修了見込みの者※ ※特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次を修了した (見込みの) 者が該当します。</p> <p>③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者, 又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑥ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者 (旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。) 及び平成 32 年 3 月までに合格見込みの者</p>																												
出願要件	<p>教員になろうとする強い意欲を有し, 合格した場合に入学を確約できる人。地域選抜枠で募集する学生は, 卒業後千葉県の教員として地域に社会貢献しようとする強い意志を有する人。</p>																												
選抜方法等	<p>① 提出された書類 (志望理由書等) 並びに適性検査及び面接 (概要については次ページを参照) により, 総合判定のうえ合格内定者を決定します。</p> <p>② 平成 32 年度大学入試センター試験で次のとおり指定する教科・科目の成績 (素点。なお, 国語及び外国語は各 100 点満点に換算します。) の総得点が 70% に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th colspan="2">指定科目数</th> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td>1 科目</td> <td rowspan="6">左記から 3 科目</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 公民</td> <td>世界史 B, 日本史 B, 地理 B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」</td> <td>1 科目</td> </tr> <tr> <td>数学①②</td> <td>数学 I, 数学 I・数学 A, 数学 II, 数学 II・数学 B, 簿記・会計, 情報関係基礎</td> <td>1 科目</td> </tr> <tr> <td>理科①</td> <td>物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 (基礎を付した科目は 2 科目で 1 科目として扱う)</td> <td rowspan="2">1 科目</td> </tr> <tr> <td>理科②</td> <td>物理, 化学, 生物, 地学</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語</td> <td>1 科目</td> </tr> </table>			大学入試センター試験の指定教科・科目				指定教科・科目		指定科目数		国語	国語	1 科目	左記から 3 科目	地理歴史 公民	世界史 B, 日本史 B, 地理 B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	1 科目	数学①②	数学 I, 数学 I・数学 A, 数学 II, 数学 II・数学 B, 簿記・会計, 情報関係基礎	1 科目	理科①	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 (基礎を付した科目は 2 科目で 1 科目として扱う)	1 科目	理科②	物理, 化学, 生物, 地学	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1 科目
大学入試センター試験の指定教科・科目																													
指定教科・科目		指定科目数																											
国語	国語	1 科目	左記から 3 科目																										
地理歴史 公民	世界史 B, 日本史 B, 地理 B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	1 科目																											
数学①②	数学 I, 数学 I・数学 A, 数学 II, 数学 II・数学 B, 簿記・会計, 情報関係基礎	1 科目																											
理科①	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 (基礎を付した科目は 2 科目で 1 科目として扱う)	1 科目																											
理科②	物理, 化学, 生物, 地学																												
外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1 科目																											

	※指定する教科・科目数を超えて受験している場合は、指定教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。（地理歴史・公民と理科②において2科目受験をした場合には、第1解答科目・第2解答科目のうち成績の良いほうを利用します。） また、「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。
出願期間	平成31年9月上旬予定
選抜期日	平成31年9月下旬予定
合格者発表	合格内定者の発表：平成31年10月下旬予定 最終合格者の発表：平成32年2月上旬～中旬予定
その他	なし

(※) 適性検査について

コース・選修・分野		適性検査の概要
小学校 コース	全選修	小学校教員にふさわしい資質と適性を評価するため、理解力や表現力、子どもを理解しようとする姿勢等を見る課題を課します。
中学校 コース	国語科教育分野	中学校教員にふさわしい資質と適性を評価するため、理解力や表現力等をはかる課題を課します。
	社会科教育分野	中学校社会科教員にふさわしい資質と適性を評価するため、これまでに学んできた社会科・地理歴史科・公民科に関する課題を課し、知識・技能や思考力・判断力・表現力等を総合的に判断します。
	数学科教育分野	これまでに学んできた数学に関する課題を課し、中学校数学教員としての資質を評価します。
	理科教育分野	志願票等と共に提出した「活動紹介資料」（A4サイズ片面1枚、用紙や形式は自由で、活動内容に関わる図表を含むものとする。）に基づいて、理科に関するこれまでの活動を発表してもらい、中学校理科教員としての資質と適性を評価します。
小中専 門教科 コース	音楽科教育分野	初見視唱奏（実技）を通して、読譜力、表現力などを発揮する活動を行い、音楽科教員を目指す上で必要とされる基礎力や、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を総合的に判断します。
	図画工作・ 美術科教育分野	創作活動を含む与えられた課題への取り組みを通して、思考力、判断力、表現力等の適性を評価します。
	保健体育科教育 分野	基礎的・応用的身体能力に関する体育実技を実施します。
	家庭科教育分野	これまで学んできた家庭科に関する課題を課し、家庭科に関わる教員に必要とされる適性を評価します。
英語教育コース	指定されたトピックについての英作文を課し、英語を使って自分の意見や考えを表現するコミュニケーション力を評価します。	
特別支援教育コース	提示された課題への取り組みを通して、特別支援教育教員を目指す上で必要とされる理解力、思考力、判断力、表現力等の適性を総合的に判断します。	
乳幼児教育コース	適性検査は行いません。（面接のみで実施）	
養護教諭コース	養護教諭にふさわしい資質と適性を評価するため、健康や養護教諭の仕事にかかわる理解力や表現力等をはかる課題を課します。	

(※) 面接について

コース・選修・分野		面接の概要
小学校 コース	全選修	集団面接あるいは個人面接を行います。
中学校 コース	国語科教育分野	志望理由書や活動履歴書等に基づく個人面接あるいは集団面接を行います。活動履歴書にかかわる資料がある場合は、持参してもかまいません。
	社会科教育分野	個人面接あるいは集団面接を行います。
	数学科教育分野	個人面接又は集団面接を行います。
	理科教育分野	適性検査の際の発表内容に関する質疑及び志望理由書と活動履歴書に基づく面接を行います。面接にあたって、活動履歴書に記載した活動を証明できる以下に例示する書類など（コピー可）を持参してください。 例：国，都道府県，各種団体・機関へ提出した科学論文・報告書・科学工作物（ただし，科学工作物については写真など），学校や地域での自然体験活動やボランティア活動の参加記録，あるいはその活動内容を示した書類，学校での理科分野の実験や観察レポート，夏休みの理科に関する自由研究論文，クラブ活動での理科に関する研究論文やその活動記録など。
小中専 門教科 コース	音楽科教育分野	主に提出された志望理由書と活動履歴書に基づく面接を行い，必要に応じて適性検査における活動についても質疑を行います。面接に当たっては活動履歴書に記載した活動を証明できる書類（参加した演奏会，発表会，コンクール等のプログラムや賞状，音楽に興味をもって研究したレポート等。コピー可。）を持参すること。
	図画工作・ 美術科教育分野	志望理由書及び活動履歴書に基づいた面接を行います。また，適性検査での取り組みについても質疑を行います。活動履歴書に関わる資料等を持参してもかまいません。
	保健体育科教育 分野	志望理由書や活動履歴書に基づく面接を行います。活動履歴書に関わる資料等を持参してください。
	家庭科教育分野	志望理由書や活動履歴書等に基づく面接を行います。活動履歴書に関わる資料がある場合は，持参してもかまいません。
英語教育コース		英語と日本語による集団面接を行います。
特別支援教育コース		志望理由書や活動履歴書に基づく個人面接又は集団面接を行います
乳幼児教育コース		志望理由書や活動履歴書に基づく個人面接あるいは集団面接を行います。（面接資料作成を含む）
養護教諭コース		集団面接あるいは個人面接を行います。

(2) 方式Ⅱ（大学入試センター試験を課さない選抜）

募集人員	学校教員養成課程 中学校コース技術科教育分野 2名
出願資格	次のいずれかに該当する者 ① 高等学校の工業，農業に関する学科及び総合学科（工業，農業に関する教科・科目を15単位以上修得した者又は修得見込みの者）を卒業した者及び平成32年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成31年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。） ② 高等専門学校第3年次を修了した者及び平成32年3月修了見込みの者
出願要件	中学校教員になろうとする強い意欲を有し，合格した場合に入学を確約できる人。
選抜方法等	提出された書類（調査書等，志望理由書，活動履歴書）並びに適性検査及び面接（※）により，総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。） （※）適性検査では，技術的な内容を含む課題についての簡単な設計あるいは製作を通して創造力，思考力をみる。面接では，個人面接を行います。
出願期間	平成31年9月上旬予定
選抜期日	平成31年9月下旬予定
合格者発表	合格者の発表：平成31年10月下旬予定
その他	なし

4. 理学部

平成 32 年度入学者選抜から理学部物理学科で新たにAO入試を実施します。

募集人員	物理学科 4名
出願資格	<p>次の①～⑦のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成 32 年 3 月までに卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による 12 年の学校教育（※）を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者 （※）特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次が該当します。</p> <p>③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>⑥ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 32 年 3 月までに合格見込みの者</p>
選抜方法等	<p>提出された書類（調査書、自己推薦書等）により、第 1 次選抜合格者を決定します。第 1 次選抜合格者に対して、総合テストにより第 2 次選抜合格者を決定します。総合テストの出題内容は次のとおりです。</p> <p>物理に関する事柄を中心に、それに関連した数学を含めて出題し、思考力、理解力、表現力、論理性等を総合的に評価します。</p> <p>第 2 次選抜合格者に対して面接を行い、総合判定により合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）</p>
出願期間	平成 31 年 10 月中旬（予定）
選抜期日	第 1 次選抜（書類選考）：平成 31 年 10 月下旬～11 月上旬（予定） 第 2 次選抜（総合テスト）、第 3 次選抜（面接）：平成 31 年 11 月中旬（予定）
合格者発表	平成 31 年 12 月上旬（予定）
その他	なし

< 推薦入試 >

平成 32 年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

1. 教育学部

学校教員養成課程中学校コース、小中専門教科コース（B 選択）、英語教育コース（B 選択）、特別支援教育コース、乳幼児教育コース、養護教諭コースにおける推薦入試（募集人員：計 38 名）を廃止します。

2. 理学部

物理学科における推薦入試（募集人員：4 名）を廃止します。

<園芸産業創発学プログラム選抜>

平成 32 年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

1. 園芸学部

園芸学科，食料資源経済学科における園芸産業創発学プログラム選抜を，以下のとおり変更します。

【変更前】

(出願資格等)

次の英語外部検定試験のいずれかの条件を満たしている者

(1) 実用英語技能検定	2 級以上
(2) GTEC 3 技能 ※	650 点以上
(3) GTEC 4 技能	1070 点以上
(4) TOEFL iBT	52 点以上
(5) TOEIC L&R	500 点以上

※GTEC for STUDENTS は GTEC 3 技能と同様に取扱います。

【変更後】

(出願資格等)

次の英語外部検定試験のいずれかの条件を満たしている者

(1) 実用英語技能検定	1950 点以上
(2) GTEC (4 技能のオフィシャルスコアに限る)	960 点以上
(3) TOEFL iBT	42 点以上
(4) TOEIC L&R + S&W ※	1150 点以上

※TOEIC L&R+TOEIC S&W は，両検定試験の受検及びスコアを必須とし，TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算したスコアで判定します。

<帰国子女入試>

平成 32 年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

1. 薬学部

薬科学科における 9 月入学（秋入学）帰国子女入試（募集人員：若干名）を廃止します。

<私費外国人留学生入試>

平成 32 年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

1. 教育学部

教育学部における私費外国人留学生入試を、以下のとおり変更します。

(1) 出願資格で指定する所定の要件

【変更後】

【変更前】

コース及び要件
学校教員養成課程英語教育コース 平成 30 年（2018 年）1 月以降に実施された 「TOEFL」を受験した者

←

コース（選抜区分）及び要件
学校教員養成課程英語教育コース（B 選択） 平成 30 年（2018 年）1 月以降に実施された 「TOEFL」を受験した者

(2) 日本留学試験の受験科目

【変更前】

学科・課程・分野・コース	日本語	総合科目	数学	理 科				出題言語	摘 要	基準点	
				物理	化学	生物	科目選択				
小中専門教科コース	A 選択	○	○	コース 1 又は 2				2 科目 自由選択	日本語	総合科目 か理科を 選択	指定する 科目それ ぞれにお いて、 得点が 70%以上
									日本語		
	B 選択	○	○	コース 1 又は 2				2 科目 自由選択	日本語	総合科目 か理科を 選択	
									日本語	総合科目 か理科を 選択	
英語教育コース	A 選択	○	○	コース 1 又は 2				2 科目 自由選択	日本語	総合科目 か理科を 選択	
									日本語		

↓

【変更後】

コース・選修・分野等		日本語	総合科目	数学	理 科				出題言語	摘 要	基準点
					物理	化学	生物	科目選択			
小中専門教科コース	音楽科教育, 図画工作・美術科教育, 保健体育科教育, 家庭科教育 の各分野	○	○	コース 1 又は 2				2 科目 自由選択	日本語	総合科目 か理科を 選択	指定する 科目それ ぞれにお いて、 得点が 70%以上
英語教育コース		○	○	コース 1 又は 2				2 科目 自由選択	日本語	総合科目 か理科を 選択	

(3) 学力検査等の出題教科・科目等

【変更後】

コース		学力検査等の 出題教科・科目等
中学校 コース	国語科教育分野	国語（国総・国表・ 現文A・現文B・ 古典A・古典B）， 面接
小中専門教科 コース	音楽科教育分野	実技，面接
	図画工作・美術科 教育分野	実技，面接
	保健体育科 教育分野	実技，面接
	家庭科教育分野	面接
英語教育コース		面接

【変更前】

コース（選抜区分）			学力検査等の 出題教科・科目等
中学校 コース	国語科教育分野		国語（現文A・ 現文B・古典A・ 古典B）， 面接
小中専門教科 コース	音楽科教育分野	(A選択)	面接
		(B選択)	実技，面接
	図画工作・美術科 教育分野	(A選択)	面接
		(B選択)	実技，面接
	保健体育科 教育分野	(A選択)	面接
		(B選択)	実技，面接
	家庭科教育分野	(A選択)	面接
		(B選択)	
英語教育コース		(A選択)	面接
		(B選択)	

←

←

←

←

←

←

<先進科学プログラム>

1. 先進科学プログラム 4月入学（春飛び入学）学生選抜（方式Ⅰ）

平成 32 年度入学者選抜から、募集分野[学部・学科（コース）]等を以下のとおり変更します。

【変更後】

募集分野 [学部・学科（コース）]
・物理学関連分野 [理学部 物理学科] ・工学関連分野 [工学部 総合工学科（物質科学コース、 情報工学コース）]

【変更前】

募集分野 [学部・学科（コース）]
・物理学関連分野 [理学部 物理学科] ・工学関連分野 [工学部 総合工学科（物質科学コース）]

←

【変更後】

出願資格等
学校教育法第 90 条第 1 項又は同条第 2 項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの ① 平成 32 年 3 月 31 日において年齢が満 17 歳以下の者（高等学校卒業程度認定試験合格者は満 17 歳の者） ② 次の分野のいずれかに該当する者 【物理学関連分野】 物理学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者 【工学関連分野】 ・工学部総合工学科（物質科学コース） 工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者 ・工学部総合工学科（情報工学コース） 工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者で、日本情報オリンピック（特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会主催）の予選に参加したもの又は出願する年に参加申込みをしたもの

【変更前】

出願資格等
学校教育法第 90 条第 1 項又は同条第 2 項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの ① 平成 32 年 3 月 31 日において年齢が満 17 歳以下の者（高等学校卒業程度認定試験合格者は満 17 歳の者） ② 次の分野のいずれかに該当する者 ・物理学関連分野：物理学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者 ・工学関連分野：工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者

←

【変更後】

選抜方法等
提出書類（自己推薦書、推薦書及び調査書）並びに課題論述により、第 1 次判定合格者を決定します。さらに、第 1 次判定合格者に対して面接を行い、総合判定のうえ、合格者を決定します。 【物理学関連分野】 物理学関連分野では、全国物理コンテスト物理チャレンジの第 1 チャレンジ合格者については、課題論述を免除します。 【工学関連分野】 ・工学部 総合工学科（物質科学コース） 全国物理コンテスト物理チャレンジの第 1 チャレンジ、または化学グランプリの一次選考を通過した者については、課題論述を免除します。

【変更前】

選抜方法等
提出書類（自己推薦書、推薦書及び調査書）並びに課題論述により、第 1 次判定合格者を決定します。さらに、第 1 次判定合格者に対して面接を行い、総合判定のうえ、合格者を決定します。 【物理学関連分野】 物理学関連分野では、全国物理コンテスト物理チャレンジの第 1 チャレンジ合格者については、課題論述を免除します。 【工学関連分野】 工学関連分野では、全国物理コンテスト物理チャレンジの第 1 チャレンジ、または化学グランプリの一次選考を通過した者については、課題論述を免除します。

←